

V 公民館職員

区 分	本館														分館									
	市町村数	館長		副館長		公民館主事		公民館主事補		書記		雇傭人		計	館数	分館長		公民館主事		書記		雇傭人		計
		専任	非常勤	専任	非常勤	専任	非常勤	専任	非常勤	専任	非常勤	専任	非常勤			専任	非常勤	専任	非常勤	専任	非常勤	専任	非常勤	
市	14	53	12	41	4	36	36	1	42	14	13	1	200	108	44	24	4	17	19	9	9	126		
町	54	81	11	65	8	56	43	3	40	18	5	21	267	250	168	23	107	8	24	1	332			
村	53	92	7	57	4	32	29	1	17	24	1	18	197	125	66	25	8	38	137					
計	121	226	30	163	16	124	100	5	99	56	18	140	664	483	278	47	149	27	32	9	48	595		

B 昭和34年度公民館等設備補助金交付内訳書

補助金総額 569,000円

施設別	交付先	補助事業に要する経費	補助金額	補助事業の内容
公民館	桑折町	160千円	40千円	映写機 1台を購入する事業
	金山町	160	40	〃
	田島町	160	40	〃
	山都町	160	40	〃
	葛尾村	160	40	〃
	湖南村	160	40	〃
	月館町	160	40	〃
	河東村	160	40	〃
	飯野町	160	40	〃
	浪江町	160	40	〃
	泉崎村	60	15	録音機 1台を購入する事業
	北会津村	60	15	〃
	小川町	36	9	〃
鮫川村	60	15	テレビジョン 1台を購入する事業	
塩川町	60	15	〃	
計			469	
図書館	会津若松市	655	50	図書 1,820冊を購入する事業
	郡山市	450	50	図書 1,400冊を購入する事業
公民館	磐梯村	4,275	1,000	公民館建設事業
青年の家	相馬市	7,343	3,192	青年の家建設事業

C 社会教育研究集会

対象 公民館職員青年学級，婦人学級の主事，講師，講師補佐，地教委教育長，公民館長
 趣旨 本年度は社会教育施行10周年に当るので，これまでのすかたを反省し，新しい方向を見出すため，学級と公民館との関連づけに課題を置いて研修する。
 期日 6月11日～13日
 場所 福島市公民館
 参加人員 約 250名
 講師 平沢 蕉（東京教育大学教授）
 内容

(1) 全体集会

講義 「これまでの社会教育，これからの社会教育」(平沢講師)

(2) 分科会（公民館，青年学級，婦人学級）さらに都市部会，農村部会にわける。

研究課題

公民館……公民館活動を地についたものにするためにはどうしたらよいか。

青年学級…青年学級における職業教育を充実するためにはどうしたらよいか。

婦人学級…婦人学級における学習方法と教具，施設の利用をどうしたらよいか。